

平成26年度 わくわく市民懇談会

1.開催日時 平成26年7月1日(火) 午後7時30分～午後9時

2.会 場 一本木研修センター

3.出席者 一本木 一日会(12名)
中野市長、随行李職員2名

4.会議録

- ◆ 一本木 一日会長あいさつ 2ページ
- ◆ 市長あいさつ、就任後に見えてきたこと 2ページ～3ページ
- ◆ 政策課題について 3ページ～5ページ
- ◆ シティセールスについて 5ページ～6ページ
- ◆ 質疑応答・要望 6ページ～7ページ

〈一本木 一日会長あいさつ〉

(会 長)

市長さんにおかれましては、何かとお忙しい中、私共のためにお時間を割いていただき、誠にありがとうございます。

本日は市長さんに、中野市のこれからの行く末についてというようなこととお話を伺えればと存じます。本日は何卒よろしく願いいたします。

〈市長あいさつ、就任後に見えてきたこと〉

(市 長)

本日はお声掛けをいただき、ありがとうございます。

昨年お話をさせていただいてから、もう一年が経ったのかというように感じております。バラまつりにおきましては、皆様にご協力を賜り、無事開催することができました。誠にありがとうございました。

バラまつりにおきましては、入場料の値上げの関係や暑さの関係等で、詳細な分析はまだしておりませんが、昨年より入場者数が25パーセント減というような結果になっております。ただ、事業採算ベースという数字で申しあげますと、目標は達成いたしました。また、昨年は駐車場等のクレームがいろいろとあったようでございますが、今年はお客さんの入場もスムーズに対応できたのかなと思います。なお、お客さんのリピーターですが、バラが好きという方はほぼ毎年お越しいただいているようでございます。入場者が減った原因につきましては競争相手が増えてきたと言われておりますが、私個人としては入場料の値上げと市民向けのチケットの関係と考えております。これらにつきましては来年の開催に向けての検討課題としたいと思います。

また、入場者数の影響として大きかったのは、志賀草津高原ルートの通行止めの影響も大きかったと思います。山ノ内町町長さんに確認しましたところ、温泉とセットで一本木公園を訪れるという方が多いようでございます。

一本木公園の話になりましたので、少しお話をさせていただきますが、一本木公園は地区の住民の方が利用する近隣公園でございまして、その成り立ちからも公園の駐車場の整備が進みにくい状況でございます。この辺が都市部の都市公園とは少し違うと考えております。

今年のバラまつりにつきましては、全国放送で宣伝をいたしまして、その放送を見て来られた方とお会いすることができ、お話をする機会がありました。その中で、これだけのすばらしい公園があるのを宣伝しないのはもったいないですよ、もっと宣伝をした方が良いでしょうよというご指摘をいただきました。

一本木公園は、駐車場のほかにもバラのための土壌改良等、整備する点が数多くございます。この公園は中野市の観光のシンボルとしたいと考えております。夏のバラに限らず、秋バラ、そのほかにも常にいろいろな花が咲いている、そんな公園が私個人として良いのではないかと考えております。

さて、市長に就任しましてから、1年以上が経ち、市政について何に力を入れてい

けば良いのかということがだんだん見えてまいりました。お手元にお配りしたレジュメに、「経済産業政策」「健康福祉・社会政策」「音楽・文化・観光政策」「都市基盤整備政策」の4つに区分した表がございます。就任してから、本表を市長室の壁に貼り、課題やアイデアが出てきた際にその表に区分して貼って行きました。しかし、最近、この表以外にもやるべきものがあるのではないかと考えております。

中野市は、いろいろと良い物があるのに、よそではそのことをほとんど知られておりません。しかし、では具体的に何が良いのかといわれるとはっきりとした説明が難しい。そこで、中野市のPRは、歴史的にまとめてストーリーを作るのが良いのではないかと考えました。特に中野市のフルーツや食文化は良い材料だと考えます。

〈政策課題について〉

(市長)

まず、経済産業政策でございますが、何より大事なものは人材育成だと考えております。よく、「人」「物」「金」ということがいわれますが、まず人を育てたい。人材育成のためのスクールを作りたいと考えております。「中野に行けば学べる」といわれる所を設置できればと思っています。

日本はこれから大きな人口減少の時代に向かっていきます。中野も大きな人口の減少を迎えるわけですが、そのような状況の中で、いかに外から人を呼び込み、どういう人に住んでもらうかということが重要になってくると考えます。空き家の有効活用、特に企業家の誘致は重要なポイントになってきます。

中野市は、東京など都心部にも近いです。インターチェンジも2つある。日本海へも近いです。このような利点がそろっている所はあまりありません。これから、新幹線も来ます。そのような中で、IT関連や物流倉庫はどうか、特に中野市は日本海へ抜ける物流の拠点・基地として注目している企業が出てきていると思います。

また、市内においては、市の経済の底を上げる企業を増やしたい。市議会で、職場付住宅というご質問がございましたが、これについては大変興味深いご提案であると思われました。これにつきましては、既に都会で始まっているリバースモーゲージもあります。ぜひ、東京や横浜でセールスを試してみたいと思います。

次に、健康福祉・社会政策であります。まず、医療面におきましては北信総合病院が新しくなりました。設備も整い、優れた医師の方も集まり始めているようでございます。

公共交通におきましては、買い物弱者をなくしたいと考えております。しかし、特に電車においては、通勤・通学・通院のみではどうしても利用者が限られてしまいます。これだけで考えていると、利用したい人の時間とフィットしていない。通学等以外で、観光面での利用も考えていかなければならないと考えます。海外では、スイス・モビリティがあります。これは、スイスで行われている取り組みで、アルプス等、観光客に巡ってほしい所に鉄道が整備されているものです。中野市においても、例えば小布施町の岩松院巡り等の観光面でも生かしていった方が良いのではないかと考えます。公共交通の利用や買い物弱者については、GIS（地理情報システ

ム) がございますので、地図上においてプロットしていけばその必要性や効率性が科学的に証明できるのではないかと考えております。

福祉におきましては、中野市は自立度が高いと思います。福祉面については、市単独ではなく、県全体での取り組みが良いと考えております。特に子育て施策については、住んでいる地域によって格差があるというのはおかしいと思います。どこに住んでいても同じ施策があるというのが普通であると考えます。

中野市においては、待機児童はございませんが、横浜市において待機児童の対策をしたところ、東京からまたたくさん待機児童が来てしまったということもありました。このことは、福祉政策を良いものとするれば、よそから中野市へ移り住んでもらえる可能性があるということです。中野市は、周辺近隣市町村の中心都市として、ぜひ移り住んでもらえる場所にしていきたいと考えております。

音楽・文化・観光政策につきましては、まず、中野市には観光という概念が重要であると考えます。中野市は見ていただきたいものがたくさんございます。しかし、中野市においては、それらに対する企画・営業が欠けていると考えます。観光資源がいくらあっても、それを売り込み、宣伝をしていかなければ何も生まれませんし、誰も来てくれません。

中野市には、宿泊施設がないから難しいという声もありますが、私個人としては、それは関係がないと考えます。私は、中野市を研究し、中野市の良さを発掘していきたい。それには、よそから人（研究者）を呼びたいと考えております。その人たちには、ぜひ中野市に住んでもらって考えてほしい。そのためには、特色のあるゲストハウスをつくりたいと考えております。

また、観光の拠点の開発をしたいと考えます。それと、中野市に来ていただいた人たちに買い物をしていただきたい。それには販売施設の設置が必要と考えます。道の駅がありますが、例えば町の駅、村の駅でも良いと思います。フリーマーケットのような形態でも良い。中野市の物が1箇所ですろい、買うことができる、そんな施設を考えています。

音楽・芸術の関係でございますが、麻衣さんに市の音楽大使になっていただきました。麻衣さんからは中野市の歌を作りたいというお話もありました。久石譲さんにも

お会いすることができ、いろいろとお話をすることができました。

中野市は、音楽だけでなく、菊池契月や三澤忠さん等、優れた絵画の先生も輩出しています。街なかで、絵や芸術の展覧会、ミニ芸術館のようなものを開催できたら、とても魅力的な街づくりができるのではないかと思います。なお、先ほど中野市の良さを発掘ということを申し上げましたが、中野学（中野検定）、ご当地学というのをぜひやりたい。これらを学んだ方たちに中野市の観光案内をしていただきたいと考えています。

中野市の魅力発信につきましては、姉妹都市、知音都市の交流と共に進めていきたいと思っております。音楽や物販もそうですが、それだけでなく、総合的な交流として進めていきたいと考えています。また、ふるさと納税についても、ご協力いただける方を増やしていくのはもちろんですが、ただ物を送るのではなく、中野市の物産のセール

スにつなげていきたい。既に中野市のPRをしていただいている、信州中野ふるさと交流団等の団体もございますが、これらの会員を増やしていくと共に、中野市の応援をしてくれるオルグ、応援団というものをぜひつくっていききたいと思います。

都市基盤整備政策につきましては、まず中野高校跡地の利活用という大きな課題がございます。市民会館の建設につきましては、市民会館という名称、目的にこだわらず、いかに市民の方が利用しやすいかということ念頭に進めてまいりたいと思います。それから、新庁舎の建設ですが、やはりこれについても市民の方が使いやすい、用事が早く済むということ念頭に進めていきたい。ワンストップという言い方が良くされますが、私個人としては究極のワンストップはベテラン職員1人ですべて処理できてしまうということだと思います。現在の庁舎の業務を新しい庁舎にすべてそのまま入れることは考えていません。現在の事業・業務の見直しを進め、コンパクトにしていきたい。中野市の人口は、20～30年後には35,000人程度になると予想されております。新庁舎はその人口減少を見越して建設したい。なお、庁舎の話につきましては、耐震工事で延命ができないのかというお話もありますが、現庁舎は老朽化が進んでおり、耐震工事で少し延命を行ったとしても、将来的に建て替えを行わなければならないことは目に見えています。国の合併特例債がある今だからこそ、庁舎の建設を行わなければならないと考えます。先程も申し上げましたが、新庁舎はコンパクトに、いかに市民の方が利用しやすいかを念頭に進めたい。繰り返すようですが、新庁舎は至極立派なビルにするというつもりはありません。

インフラの話に移りますが、下水道や市道についても見直しを行っていきたい。かつては、経済成長を背景にどんどん拡大してきましたが、これについてもやはり人口減少を見越して見直しを進めなければならないと考えます。また、指定管理者制度につきましても見直しを進めてまいりたいと考えています。

〈シティセールス〉

(市長)

どうやったら様々な方面で中野市をとりあげてもらえるか。私はシティセールスに

力を注がなければならないといつも考えています。

市には売れる農業推進室がありますが、市全体として農業だけでなく、市の代表的、世界的技術を持つ企業さんをセールスしていきたい。コシナさんや新光電気さんはその良い例です。営業開発室のような部署をつくって対外的に技術や製品を売り込んでいかなければならないと思います。中野市全体として総合的に売り込んでいく。これが重要と考えます。

私は中野市を元気にしたいといつも考えていますが、これは経済的に豊かにしたいということです。それには、市の企業さんを売り出していくと共に、市の外からの資本投資を考えていかななくてはなりません。今、新幹線飯山駅の前が広く空き地になっていて、これからどうなるのかと思っただけでいらっしやる方もいるかもしれません。しかし、実際には、ホテル会社さんが虎視眈々と出店の機会をうかがっています。飯山の話をしたんですが、中野にも投資を呼び込める良い場所がたくさんございます。引き続き

き、シティセールスは強力に押し進めていかなければなりません。それと、市の組織を変えたい。営業部のような部署をつくりたいと考えています。松阪牛で有名な松阪市の営業ご担当の部長さんは市の職員ではありません。市でPRのため、人材育成した方です。

先程から人口の減少ということを何度も申し上げていますが、とにかく外から人や企業を呼び込んでこないダメだと思います。先頃、いわふねサミットがございました。岩船の地名の縁で、中野市の岩船地区と新潟県の村上市、千葉県の大原町、栃木県の岩舟町が繋がりました。岩船地蔵尊を子宝の地蔵尊にして、この4箇所を巡ると子宝に恵まれますよという取り組みなんかはお客様の興味を引くのではないのでしょうか。そういった物をつくり、話題にならないと人は集まって来ません。こういった集客の取り組み、交流は民間でやるべきという声もありますが、私はこれこそ行政が逆に取り組むべき課題と思います。10月には、横浜で中野のシティセールスをしてきます。市をとにかく売り込みたいと考えています。

本日の懇談会はこの辺で閉じさせていただければと思います。お話の機会を設けていただき、ありがとうございました。

〈質疑応答・要望〉

《質疑応答・要望①》

都市基盤整備政策として、市民会館の早期の建設を望んでいます。都市計画道路も見直しが行われたようですが、中野市街地の東側外縁部の東町地区・小田中地区・日野地区と市街地が都市計画道路で結ばれていないので、にぎわいがなく、住宅地としても利便性が悪いと思います。市街地と市街地東側を都市計画道路で結び、環状路線としてほしいと思っています。

(市長)

環状路線の整備については、一本木公園と共に整備優先順位が高いものと考えています。

《質疑応答・要望②》

中野高校の跡地利用はどのように考えているのでしょうか。

(市長)

検討がスタートしたところです。これから庁内検討会議も始まります。

いろいろな方から様々なご意見をいただいています。私個人の考えではなく、様々な意見を取り入れて総合的な利活用を図っていきたいと考えています。

《質疑応答・要望③》

老朽化していて再整備しなければならないというインフラは中野市にはたくさんあるのでしょうか。

(市 長)

たくさんはございません。私個人としては街なかの整備をしていきたいと考えております。

《質疑応答・要望④》

中野市が御天領地であった由来を調べ、市のPRにつなげたらどうでしょうか。

(市 長)

中野が天領であったという歴史は大変興味深いものがあります。中野市の歴史、天領の歴史については、ぜひ中野学というかたちで研究をし、PRをしていきたいと考えています。